

市長総括説明から

11月29日、平成25年第6回市議会定例会が開会しました。

市長は、水害サミット実行委員会の幹事として行った地方交付税措置の要望や国道426号豊岡バイパス開通について述べた後、当面する市政の諸課題ならびに提出議案の主なものについて説明しました。

その概要をお知らせします。

安全に安心して暮らせるまち

兵庫衛星通信ネットワーク設備の更新

耐用年数を過ぎた兵庫衛星通信ネットワークのアナログ設備一式を県内一斉にデジタル化して更新します。

本市は、Jアラートとそれに連動する防災行政無線に加え、衛星携帯電話で本庁・支所間の通話が可能なため、同ネットワークは本庁と消防本部設置分のみ更新します。

第2あすなろ苑の利活用

事業者候補の選定

第2あすなろ苑は、来年3月31日を期限として市に返還されます。障害者福祉サービス施設の運営事業者を公募し、「特定非営利活動法人セルフサポートいずし」を候補として決定しました。土地、建物の貸付料は無償で、事業開始は来年5月の予定です。

ドクターカー運行

ドクターカーが、早期に救急車とドッキングして、より早く医療介入ができるよう、消防本部指令室からドクターカーの位置情報を把握できるシステムを、来年1月に導入します。

人と自然が共生するまち

北但行政事務組合は、北但ごみ処理施設整備・運営事業者のタクマグループと仮契約しました。

新施設は、ごみ焼却による熱エネルギーを発電に利用します。予想発電量は一般家庭約4800世帯分の消費電力に相当し、山宮地場ソーラーの発電量の19倍に相当します。また、進入道路・敷地造成

大規模太陽光発電事業

10月に、第2期山宮地場ソーラーが竣工し、第1期分と合わせてメガソーラーとして発電しています。11月15日までの第1・2期の合計発電量は、想定量の112パーセントで、年間想定量を上回っています。

竹貫区旧分譲宅地の大規模太陽光発電事業は、有利な売電価格での事業展開を図るため、年度内に設備認定等の申請を行う必要から、債務負担行為の追加をしています。

国から、固定価格買取制度で売電事業を行う場合は、特別会計を設置するようにとの通知があり、来年度から特別会計を設置します。

太陽光発電システム導入補助事業の交付条件変更

環境経済の域内循環を一層進めるため、来年度から、補助対象を市内事業者の施工に限定します。また、補助単価を見直し、基本単価を1キロワット当たり3万円、市内産パネルの施工に1万円の上乗せを行います。

上下水道料金等の消費税転嫁

来年4月から消費税が8パーセントになるため、増税分を上下水道料金等に転嫁します。試算すると、口径13ミリメートル、使用水量20立方メートルの家庭では、水道料金が73円増額、下水道使用料が83円増額となります。

外国人観光客の誘客推進

昨年の城崎温泉の外国人宿泊者は4732人で前年の4倍強、今年は9月までで6218人に伸びています。国内旅行市場は、今後大きな成長が見込めなため、外国人観光客誘客に取り組みます。

外国人観光客の誘客推進

11月4日から7日まで、ロンドンで開催された、世界最大規模の国際旅行博WTM(World Travel Market)に出展しました。これにより、JRで行ける城崎温泉を中心に

持続可能な「力」を高めるまち

市内の水稲栽培農家を対象にアンケート調査を実施した結果、コウノトリ育む農法の認知度は約75パーセントで、取り組む生産者も増えていきます。

コウノトリ育む農法

しかし、早期湛水等による近隣圃場への迷惑、雑草の抑制対策の手段により、取り組まない生産者も多くいます。今後、集落単位での取組みを促し、雑草対策などの省力化を図る技術革新の導入を検討し、普及拡大に努めます。

とした但馬地域は、魅力的なオプションであることが確認できました。また、来年2月に京都を訪問する海外取材陣に、豊岡まで足を延ばしていただくことになりました。

12月13日に、フランス政府の文化分野の公式機関であるアンステイチュ・フランセ東京で、主に在日フランス人を対象に「ミシユラン・グリーンガイドと共に日本を発見小さな世界都市 豊岡」と題したプロモーションを実施します。豊岡の紹介や豊岡食材の料理を提供するカクテルパーティーなどを行います。

高めるまち

外国人観光客の誘客推進

外国人観光客の誘客推進

高めるまち

外国人観光客の誘客推進

高めるまち

外国人観光客の誘客推進

高めるまち

外国人観光客の誘客推進

高めるまち

外国人観光客の誘客推進

高めるまち

外国人観光客の誘客推進

高めるまち

## ○旧市役所南庁舎別館の地盤改良工事

旧南庁舎別館は、来年4月からお菓子を中心テーマとした交流施設とするため、改修工事を進めています。耐震診断の地盤調査の結果を受け、建物改修工事と併せて地盤改良工事を行います。

## ○企業誘致優遇措置の拡充

企業誘致は、新規立地以外に既存企業の増設も推進しています。企業の機械設備への投資と雇用の拡大促進のため、常用従業員を1人以上新規雇用し、5千万円以上の償却資産を取得した場合に、初年度固定資産税のうち、償却資産賦課相当額を、奨励金として交付する制度を新設します。

## ○エコプロダクツ2013

### への出展

環境経済事業認定を受けた事業者の取引先拡大のため、日本最大級の環境展示会であるエコプロダクツに、株式会社カネカと共同出展します。豊岡市ブースで市内企業6社の環境経済事業の展示と説明を行い、取引先拡大を図ります。

また、成功事例を作ること

で、市内事業者の環境経済事業への参入を促進します。

## ○宅地事業特別会計の運営

宅地事業特別会計で販売を行っている分譲地は、竹野町御又、出石町中川、但東町小谷・相田土生ヶ丘の4区があり、17区画が売れ残っています。販売価格が時価より高いため、値下げして販売を促進します。売却損は一般会計から補填します。

## ○コウノトリ但馬空港からの

### 東京直行便の取組み

小型機も離発着できる羽田空港政策コンテスト枠には、運行する航空会社が見つからず応募できませんでした。2年後の再募集に狙いを定め、「ターゲット70」の取組みを強化し、県などと連携して運航会社との協議を継続します。

## ○北近畿タンゴ鉄道株式会社

### の運行会社募集

北近畿タンゴ鉄道株式会社は、毎年赤字額が増加している状況から脱却するため、運行会社となる民間事業者を募集しています。1月下旬には運行会社を決定し、来年度中に運営を開始する予定です。

## ○全但バス神鋼線の

上限200円バス社会実験 第2期社会実験の10月末の延べ利用者数は、昨年同期と比較すると23ポイント増で、8月は単月目標に対し100・5パーセントを記録しました。

しかし、目標利用人員に対する達成率は88・7パーセントです。地元は、「地域が」地域のために「地域の発想で」と乗車運動を再加速されており、地元、運行事業者、市が一丸となって取り組みます。

## ○但東町合橋地区における

### チクタクの運行

「チクタク」は、市が地元運営協議会に委託して運行する地域主体の公共交通です。12月2日に「チクタク合橋」の運行が開始されます。

## ■未来を拓く人を育むまち

### 森本中学校の統合

森本中学校統合の要望書を受け、9月に「豊岡市立森本中学校統合検討委員会」を立ち上げました。

現在、統合先候補を「竹野中学校」と「豊岡北中学校」の2校に絞り、検討しています。今年度中に統合先と統合年月日を決定する予定です。協議、

調整を進めています。

## ■市政の運営

### ○地域おこし協力隊の導入

地域の維持・活性化を図るため、総務省の制度の「地域おこし協力隊」を、来年度、竹野浜自治会に導入します。協力隊は、地域活動や地域課題の解決の支援を行いながら、隊員自らの定住に向けた活動を行います。

今後は、当該事業の効果や活動の有効性を検証し、他地域への導入を検討します。

### ○兵庫県立大学大学院への

#### 職員派遣

来年度4月に、県立コウノトリの郷公園内に「兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科」が開設されます。

専門的な知識と能力を有する職員を育成し、公務の能率的運営に資するため、市職員を原則年1人派遣します。派遣期間は2年間で、授業料などの派遣経費は市が負担します。

○使用料・手数料等の見直し  
使用料236項目、手数料90項目、雑収入319項目、合計645項目の見直し作業を行いました。その結果、消

防証明5項目について、来年度から現行200円を300円に改定します。

### ○消費税率引上げによる

#### 市財政への影響

地方自治体の負担増分は地方交付税と地方消費税交付金などで措置されるものと見込まれ、市の財政収支に大きな影響はないと考えています。地方公共団体の一般会計については、消費税は生じません。

### ○事務用パソコンの更新

来年度4月9日で、パソコン基本ソフトウェアのWindowsXPとビジネス用ソフトウェアのoffice2003のサポートが終了します。市職員の事務用パソコンにも、これらのソフトウェアを搭載したものがあため、新しいパソコンへの更新を行います。

### ○新庁舎のグランドオープン

現在、新庁舎の外構工事を実施中です。来春には全ての工事が完成しますので、グランドオープンのお祝いを行います。式典は、菓子祭前日祭が催される来年度4月19日に、新庁舎前の芝生広場を会場として開催します。